



城西国際大学の6年制薬学教育



「遠くの大病院より、近くの頼れる薬剤師に！」

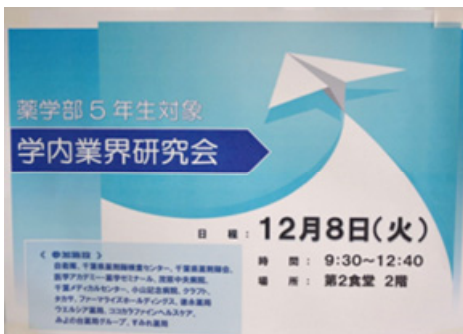
超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。

従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を養成します。

携帯サイトへ！



学内 業界研究会 が開催されました。



2016年より就職協定および倫理憲章の見直しに伴い、企業の新卒採用活動の開始時期が遅れることになりました。その背景の一つに学生の就職活動が「学びの時間」を妨げるという考えがあります。薬学生にとっては、「社会で活躍する薬剤師」と直接お話しできる機会は、大学での学びに深みを与えると同時に、学ぶことへの一層の意欲を喚起する機会であると考えます。そこで就職委員会が中心となり、学内にて「業界研究会」を開催しました。病院・薬局実習を終えた5年生にとって、将来を考えるととても有意義な時間になりました。本会には、多くの卒業生も「先輩」として参加してくださいました。



卒業生：池田泰朗さん
みよの台薬局グループ (08年度卒)



卒業生：足立充さん
ココカラファイナンスルケア (14年度卒)



ウエルシア HD トータルヘルスケア講座



4年生は共用試験のCBTが終わり、1月にはOSCEが行われます。また5年に進級すると、実務実習が控えております。ウエルシアHDさまのご協力を得て開講しているトータルヘルスケア講座(寄附講座)では、4年生を対象に「マナー講座」が開かれました。

普段着慣れないスーツを身にまとい、初々しさと緊張感のみなぎる講義でした。

V-Acti'on JIU 薬学部 教育プログラム

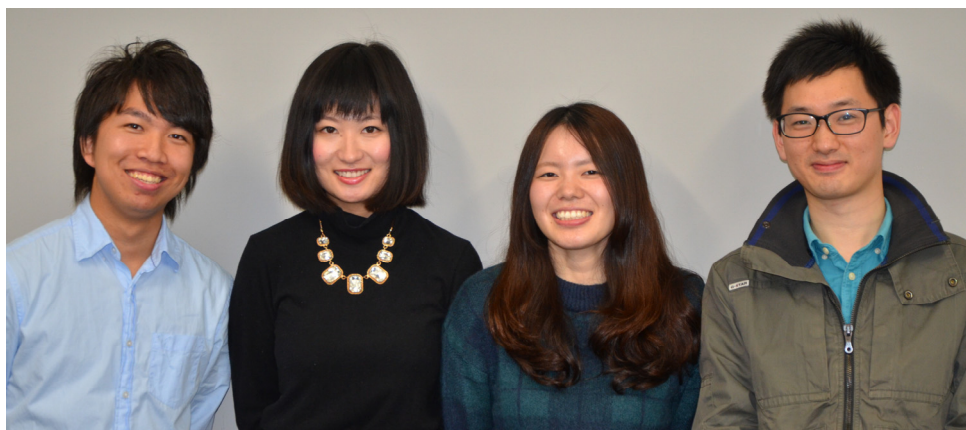
2015年4月にスタートした新カリキュラム。1年生の臨床マインド教育：Initiation-Stage は順調に進行しています。後期は早期臨床体験として病院や薬局を訪問したり、模擬患者さんを相手にした患者対応を体験したり……薬剤師への道のりを一步一步、確実に歩んでいます！



2016年度生 募集 大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程

城西国際大学 入試・広報センター TEL: 0475-55-8855 E-mail: admis@jiu.ac.jp <http://jiu.ac.jp/pharmacy/graduate/index.html>

「今の自分」と「将来の自分」 実務実習で感じたこと



本日は、実務実習を終えた5年生にお話を伺いました。

実務実習は、いかがでしたか？

(社) すごく勉強になりました！病院実習は、大学病院だったので、他大学の実習生もたくさんいて良い刺激を受けました。内服薬、注射薬、医薬品情報室……色々な業務を勉強することができました。

(栗山) 私も実習先の病院では、社安くんと同じように実習生が多かったです。やっぱり、「他大学の学生」と一緒に実習を受けるのは、不安もあるけど、「今の自分」を知るためには、良い経験でした。

(武内) 楽しかったです！ずっと実習していたかったです。救急専門病院と精神専門病院、リハビリ専門病院、がん専門病院をグループ実習してきました。緊急搬送されてくる患者、助かる命、助からない命、知らない病気、患者さんの悩みや不安、実際の薬剤師業務……全てが驚きで、全てが勉強でした。でも、同時に自分の勉強不足を痛感しました。

(五木田) 勉強不足……たしかに。僕は、地域密着型の薬局で実習したんだけど、在宅患者に薬を届けて指導・説明したり、医師の往診に同行して必要な情報を提供する指導薬剤師を見て、「こんな薬剤師になりたい」と思う反面、「今の自分」に対して知識不足や不安を感じちゃったな～。

(社) でも、勉強不足で感じることはできたのは、実務実習を経験したからだよ。例えば、僕は、実習前まで「服薬指導」って良くわからなかったんだ。もちろん、授業で習うから知識としてはわかるんだけど、なんかしっくりこないというか……。ただ、薬の説明をするだけで、毎回説明して何の意味があるのかな？って正直思った。でも、実習で患者さんの話を聞き、指導薬剤師の説明に同席させてもらうと、知識以外にも「聞く力」、「聞き出す力」がとても重要で、患者さんそれぞれに合わせた対応が必要だったことがわかったんだ。当たり前のことだけど、全員に同じ説明では駄目なんだよね。マニュアルにできない部分があるんだと思うよ。

(栗山) そうだよ、私も実習で「知らないこと」を理解してもらったのは、すごく難しいことだけだと大切なんだって実感しました。患者さんの中には、文字が見づらい方や疾患により手先が器用でない方もいて……。私が実習した薬局では、ケアマネージャーさんと相談しながら患者さんのニーズに合わせて、説明の文字を大きくするなどの工夫を行っていました。多職種同士が連携して、常に「何ができるか？」を考えていて……すごく感動しました。

(五木田) たしかに、実習に行かないとわからないことがたくさんあるよね。実習前と後の「薬剤師のイメージ」ってすごく変わったな～。実習前は、薬局はひたすら調剤しているだけのイメージしかなかったし、病院薬剤師は……正直、何をしているか想像できなかったよ。社安くんが言うように、授業で習うから知識としてはわかるんだけど、なんかしっくりこないというか……。

(武内) 私も……今まで色々勉強したけど、心のどこかで「結局、薬を袋に詰めるだけ」って考えてた

んだと思う。だから、実際に実務実習を体験した時に、すでに習っていることや当たり前なことであっても、それを実践している薬剤師を見ると、「すごい！」って感じたんだと思う。

(栗山) そうだね、私もそう思うよ。でも、そうすると私たちの目指すものは、もっと上にあるってことになるね。

(五木田) たしかに。じゃ、もっと色々なことを勉強しないとイケないね。でも僕は、環境が変わると体調を崩すから……少しずつ計画的に勉強して行こうかな～。

(社) 意外とデリケートなんだね。でも、環境の変化というよりは勉強時間の問題だと思うけど……。

(五木田) ……。

特に印象に残ったことは？

(社) 私が印象的だったのは、実習した大学病院に、「ファーマシーステーション」と呼ばれる薬剤師専用の部屋が各フロアに設置されていて、担当薬剤師が常駐していたことですね。薬剤部以外に、薬剤師専用のスペースがあることに驚きました。そこには安全キャビネットもあって、注射薬の調製や医療スタッフに対する情報提供を行っていました。病棟スタッフも専門性の高い薬剤師を信頼していました。

(栗山) 各フロアにあるなんてすごいね！「常に見えるところにいる薬剤師」、それがきっと医療スタッフとの良好なコミュニケーションを構築して、信頼につながっているんだね。私が印象に残ったのは、病院のNICUで実習したことかな～。NICUというのは、新生児集中治療管理室のことなんだけど、初めて見たときは、見慣れない機器がたくさんあって、不謹慎だけど「ドラマのセットみたい！」って思っちゃいました。でも、そんな特殊な環境の中に薬剤師が普通にいて、活躍している姿を見て驚きました。新生児のこと、NICUでの薬の使い方、薬剤師の関わり……全てが本当に驚きと勉強でした。

(五木田) それ、すごくわかるな～。栗山さんと同じような話になっちゃうけど、僕が印象に残ったのは病院のICUで実習したことかな～。ICUは、NICUのように新生児専用ではなくて、重症患者の集中治療を行う場所になるんだけど、僕はそこでICU担当薬剤師に指導してもらいながら実習したんだ。3週間実習することで、重症患者や急性期患者の経過、検査値などの推移、それに対する薬剤師の関わりを学ぶことができて……本当に貴重な体験でした。

(武内) みんな病院実習の話だね～。私は、薬局実習かな。私が実習した薬局に、緩和治療をしているおじいちゃんがあるんだけど、痛そうで表情も良くない時もあるんだ。私はどうして良いかわからなくて……でも、指導薬剤師と一緒に話を伺っ

てお薬の説明をすると、「嬉しそうな笑顔」が返ってくるんです。本当は痛いはずなのに……。でも、それがすごく嬉しくて……なんか、ずっとその「笑顔」が頭の中に残ってるんだ。そんな「笑顔」を返してもらえる薬剤師もすごいし、痛いのにな「笑顔」を返してくれるおじいちゃんも……。私が同じ立場になったら同じように「笑顔」を返せるのかな～って考えちゃうんです……。

(栗山) みんな色々な体験をしたんだね！印象に残ったことが多くて、いつまでも話が尽きないね。

(社) それだけ、「今の自分」に対して意味のある実習だったんだね。

(五木田) じゃ、その経験を生かして、もっと先にあるものを目指さないといけな～。

この実習は、皆さんの就職感に何か影響を与えましたか？

(五木田) 実務実習前は就職について、特に考えていませんでした。でも今回の実習の影響は本当に大きくて……病院で実習した後は病院薬剤師になりたくなって、薬局で実習した後は薬局薬剤師になりたくなって……。でも、実習を終えて大学に戻ってきてから改めて色々考えると、「地域に密着した医療」を目指したいなっていう気持ちが出てきました。できるかわからないけど、将来は自分で薬局を開業して、地域に関わっていきたくて考えています。

(武内) そうだね。私も、あまり就職とか先のことは具体的には考えていなかったな～。私は今回の実習で、OTCに興味を持ちました。薬剤師と一緒に考えて薬の相談にのったり、アドバイスできるのは魅力的だと感じたから。

(栗山) 私は、実務実習前から「病院薬剤師になりたい」って思ってたけど、それは少しモヤッとしたもので、「具体的な目標」としてきちんと考えていなかった気がするな～。今回、病院で実習して「患者との関わり」、「医療者同士の関わり」を体験することで、モヤが晴れた気がします。将来は、病院薬剤師になって専門的な勉強がしたいと思ってるんだ。

(社) 僕の場合は、留学生と言う立場もあるから色々考えてしまう部分もあるんだけど……。でも、実務実習を経験して、今は大学病院のような規模の大きなところで、広く深い知識を学び、その中で自分の専門性を磨いていきたいと考えてるよ。

(栗山) みんな、「なりた～いもの」を見つけたんだね。でも、実務実習を経験すると「国家試験のためだけの勉強」をするのは、何か違う気がするなって感じてるんだ。それだけでは、「何か足りないもの」があると思う。

(武内) たしかにね。私はOTCや健康食品の勉強をしたいと思ってる。できれば、在学中に「健康食品管理士」の資格にも挑戦したいな。

(五木田) 僕は、薬局実習の時に参加させてもらったような、「学外の勉強会」に参加してみようと思ってるんだ。

(社) みんな前向きだね。でも、これから「越えなきゃいけないもの」があるのも事実だし、優先順位とバランスが重要だと思うよ。国家試験まであと1年だけ、悔しい思いはしたくないからね。実務実習で得た「経験」、「知識」、「前向きな気持ち」を、残り1年とその後の将来に向けて生かしていくことが大事になるんだと思うよ。

(栗山) うん！みんなで「もっと先にあるもの」を目指して行こうね！



武内 まどか (5年)
明桜高校出身 (秋田県)



五木田 達也 (5年)
東金高校出身 (千葉県)



栗山 晴那 (5年)
安房高校出身 (千葉県)



社 安 (5年)
国立大連外国語大学出身 (中国)